

2023年度 第9回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

1. 応募講演

4 講演

2. 選考経過

2-1 建築デザイン発表会

2023年6月25日(日) 11:00~11:44

於: Zoom によるオンライン発表

今回は、昨年に引き続き、みちのくの風 2023 がオンライン開催となったことに伴い、建築デザイン発表会も Zoom を用いたオンライン開催となった。

応募4講演について、Zoom の画面共有機能を用いた発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められた。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げたい。

2-2 選考委員会

2023年6月25日(日) 11:45~12:05

於: Zoom によるオンライン会議

発表を聴講した建築デザイン教育部会の部会員6名(下記参照)で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、計4件の講演より1つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、議論を通して決定することとした。

結果、次節に示す講演に第9回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長: 櫻井 一弥 (建築デザイン教育部会長、東北学院大学)

選考委員: 小地沢将之 (建築デザイン教育部会幹事、宮城大学)

谷本裕香子 (東北工業大学)

佐藤 充 (東北芸術工科大学)

馬渡 龍 (八戸工業高等専門学校)

濱 定史 (山形大学)

3. 選考結果

第9回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1点

「かんかく - 遊び・学び・繋がる -」(E-4)

阿部 夏美、畠山 雄豪 (東北工業大学)

4. 講評

「かんかく - 遊び・学び・繋がる -」

本計画は、南三陸町入谷地区を対象に、広い範囲にわたって子どもの遊び場をデザインした計画案である。自然の中での想像力に溢れた子どもの遊び場を「かんかく」をキーワードに空間化している。

計画の前段階として、実際のプレーパークにおける子どもの遊びを丁寧に観察し、その遊びから学びの要素を抽出して具体的な空間を設計するためのパタンランゲージに落とし込んでいる。

敷地の微妙な高低差や視点場の変化を緻密に読み込み、その場にふさわしい丁寧な空間設計が実現できていると評価できる。また、経年による木製遊具などの色の変化や、子どもたちが繰り返し遊ぶことで変化していく石や土の様相を想定している、言わば時間のデザインが織り込まれていることも秀逸である。

選考委員会では、そうした部分が高く評価され、今回の賞に選出された。

以上